

実施団体の概要

- ・ 所在地：徳島県海部郡美波町・牟岐町・海陽町
- ・ 実施主体名：海部次世代園芸産地創生推進協議会
- ・ 栽培作物・作付面積：きゅうり・1ha
- ・ 取組人数：6名

導入技術

- ・ 通信型環境制御測定装置（(株)デンソー製「プロファームモニター」）
- ・ ハウス内に設置した温度・湿度・二酸化炭素・日射センサー等で計測したデータをスマートフォン等からリアルタイムにモニタリング/計測データの異常をメール通知

導入経緯

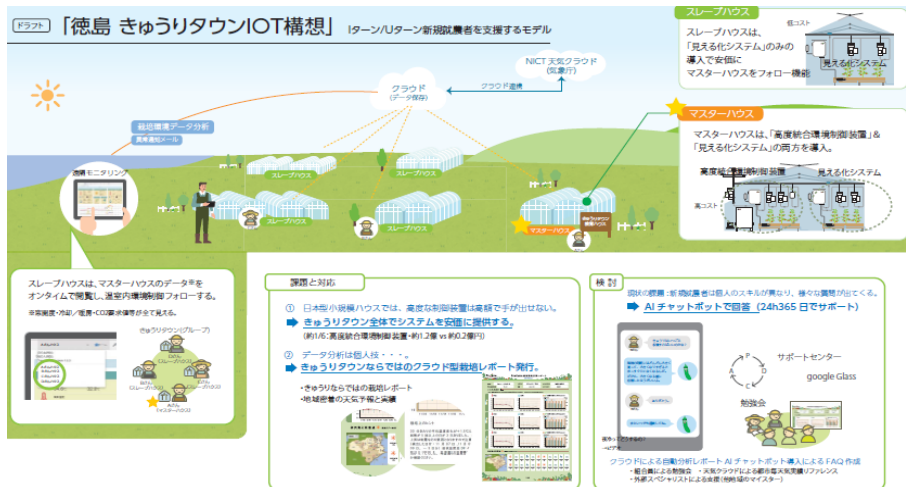
- 新規就農者の育成は経験の伝承が主体となっており、技術習得の加速化が課題であった。
- そこで、高収量ハウスの栽培技術をIoTを活用して地域で横展開し、それを新規就農者の技術習得へ活用することを目的に、H27年に統合環境制御装置を備えた次世代園芸実験ハウス、H29年に通信型環境制御装置を備えたハウスを導入。

取組の特徴・効果

- 統合環境制御装置を備えた実験ハウスできゅうり養液栽培を実施し、地域の平均を超える収量を達成。
- この実験ハウスの栽培技術を模倣するため、別棟ハウスへプロファームモニターを設置し、実験ハウスとの間に通信環境を構築。この別棟ハウスの管理を新規就農者6名が担うことで、IoTを活用した技術習得の加速化に取り組んでいる。
- 養液栽培に必要な実験ハウスの各種要素技術を、別棟ハウスの環境制御に連動させる技術開発が課題であり、企業・研究機関と連携の上で取り組む予定。

【今後のスケジュール】

- 1年目：実験ハウスでのIoT技術に対応した栽培技術の実証
- 2年目：ネットワーク化の実証
- 3年目：海部地域で取り組むためのマニュアルの普及



(イメージ図)